



ULVAC REPORT

第119期 事業報告書 2022年7月1日～2023年6月30日

ULVAC

証券コード：6728

経営基本理念

アルバックグループは、互いに協力・連携し、
真空技術及びその周辺技術を総合利用することにより、
産業と科学の発展に貢献することを目指す。

2050年にありたい姿

真空技術で世の中のためになる価値をパートナーとともに生み出し、
人と地球の未来に貢献し続けている企業

〈経済成長・社会的豊かさ〉最先端の技術開発でより安全・安心、
かつ豊かで便利な社会の実現に貢献する

〈人の幸せ〉すべての人が幸せな生活を送るための社会づくりに貢献する

〈環境〉地球にやさしく持続可能な社会づくりに貢献する

Vision 2032

未来につながる「可能性の場」であり続ける

マテリアリティ

- 真空技術をコアとしたイノベーションの創出・共創の推進
- 多様な人財の育成と活躍推進・レジリエントな組織づくり
- バリューチェーンにおける人権尊重・責任ある行動
- 持続可能な地球環境への貢献

At a Glance

連結決算ハイライト

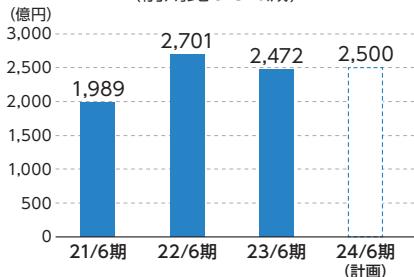


決算に関する詳細情報は当社ウェブサイト「株主・投資家情報」からご確認ください。



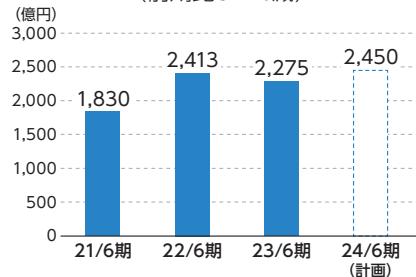
受注高

2,472億円
(前期比8.5%減)



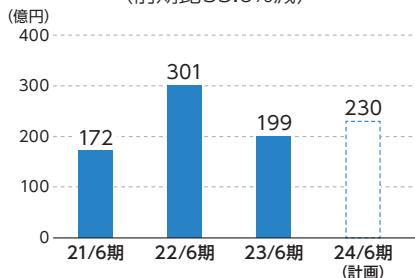
売上高

2,275億円
(前期比5.7%減)



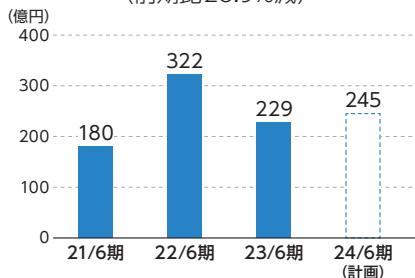
営業利益

199億円
(前期比33.6%減)



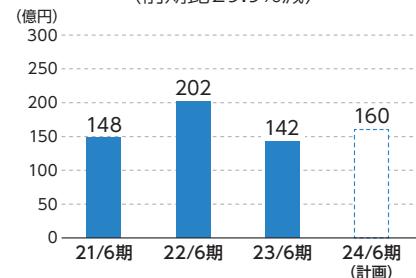
経常利益

229億円
(前期比28.9%減)

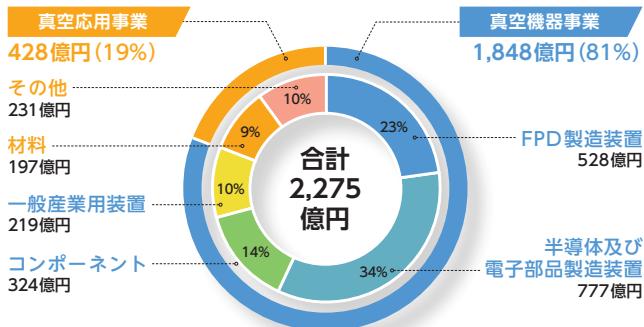


親会社株主に帰属する当期純利益

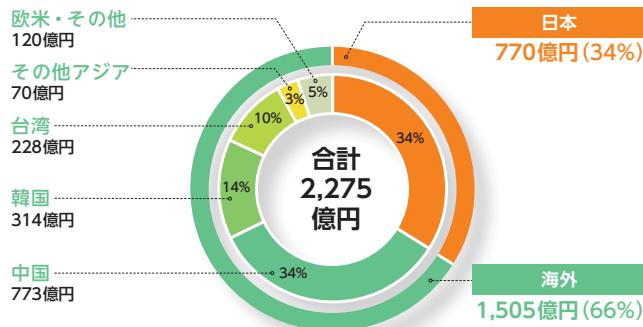
142億円
(前期比29.9%減)



事業別売上高 (2023年6月期)



地域別売上高 (2023年6月期)





真空技術で社会的価値を創造し、 人・社会・地球の未来に貢献します。

代表取締役社長
岩下 節生

2023年6月期の業績

前期比で減収・減益も、半導体及び 電子部品製造装置・コンポーネント等での 受注高・売上高は着実に増加しました

当期における世界経済は、穏やかな回復基調で推移しましたが、地政学リスクの高まり等に伴う各種材料や部品の価格上昇やサプライチェーンの混乱、そして世界的な金融引き締めに伴う景気後退懸念の高まり等から、その先行きに対する不透明感が高まりました。

当期における当社グループを取り巻く事業環境は、半導体業界では、スマートフォンやパソコン等の需要減速に伴う短期的

な半導体メーカーの設備投資の鈍化が認められるものの、中長期的には、生成AIへの期待等も相俟った半導体需要拡大が見込まれるとともに、地政学リスク対応等の観点からの世界各地での半導体工場新增設計画も進められています。また、エレクトロニクス業界では、グリーンエネルギー政策等に基づくEV導入促進政策の進展等に伴ったパワーデバイス投資、スマート社会化構想等に基づくデジタル化の促進やメタバースの実現等に向けた各種電子デバイスの技術革新や増産のための投資、中国におけるエレクトロニクス国産化政策に基づく投資等が継続的に拡大しています。そして、フラットパネルディスプレイ (FPD) 業界においては、タブレットやパソコン用のITパネルが液晶から有機ELへの転換期にあり、大型基板の有機EL投資が今後増加することが期待されています。また、産業用電池業界においても、EVバッテリーの小型大容量化や安全性向上の実現に向けた量産投資が本格化しはじめています。

こうした環境の中、FPD製造装置については、前期のITパネル用液晶投資の活発化の反動減により、受注高、売上高ともに前期比で減少しました。しかしながら、半導体製造装置については、ロジック向け投資等により、電子部品製造装置については、パワーデバイスやオプトデバイス等の投資活発化や中国のエレクトロニクス国産化に向けた投資活発化等により、受注

高、売上高ともに前期比で増加しました。さらに、コンポーネントについても半導体、電子部品及びEV用バッテリー等の製造装置や民生機器関連向けの真空ポンプ・計測機器・電源機器等が好調に推移し、受注高、売上高ともに前期比で増加しました。

以上により、2023年6月期の連結業績は、受注高2,472億円 (前期比8.5%減)、売上高2,275億円 (同5.7%減)、営業利益199億円 (同33.6%減)、経常利益229億円 (同28.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益142億円 (同29.9%減) と、売上高の減少や先行投資となる半導体関連等の研究開発費の増加等により、前期比で減収・減益となりました。

前中期経営計画の振り返り

部品長納期化の影響等によって 利益率は計画値を下回るも、 成長領域における受注高は計画値を上回りました

前中期経営計画「Breakthrough 2022」(2021年6月期～2023年6月期)の実績については、当社グループが成長領域であるとした半導体ロジック、パワーデバイス及び各種電子デバイス等の成長ドライバーの牽引によって、2020年6月期比で受注高は1.6倍に成長しました。また、売上高についても、こ

これらの半導体及び電子部品事業における顧客の投資の拡大によって計画値を上回りました。しかし、地政学的要因等によるサプライチェーンの混乱等を原因とする調達部品の長納期化等により、利益率については、計画値を下回る結果となりました。

また、前中期経営計画における具体的取組みであった「成長事業の強化」及び「研究開発力強化」については、半導体事業における新たな工程への新規参入を含む受注拡大、電子部品事業において当社グループが注力すべき主要5分野のうち、特に、パワーデバイス・オプトデバイスの受注拡大、そしてFPD事業におけるEVバッテリー用の巻取式真空蒸着装置の量産化開始といった成果を上げました。また、その他の具体的取組みであった「モノづくり力強化」及び「経営基盤の強化」については、国内外の子会社統合の実施や生産性向上に向けた各種システム整備の推進を行いました。

新中期経営計画をスタート

真空技術による社会的価値創造及び 利益・資本効率重視の経営を目指します

当社グループは、「未来につながる『可能性の場』であり続ける」という“Vision 2032”を策定し、これに基づいてマテリア

リティを定めました。この“Vision 2032”をふまえて、2024年6月期を初年度とする3年間（2024年6月期～2026年6月期）の新中期経営計画を策定しました。この新中期経営計画においては、「真空技術による社会的価値創造」及び「利益・資本効率重視の経営」という基本方針のもと、「成長事業における製品競争力の強化」、「グローバル生産性の向上」、「経営基盤の強化」を重点戦略とし、それぞれについての具体的取組みを定めました。

この新中期経営計画においては、まず、「成長事業における製品競争力の強化」として、半導体、電子部品及びバッテリー市場を中長期的成長が特に期待できる成長ドライバーとして捉え、これらに関係する事業分野への研究開発をさらに強化します。また、「グローバル生産性の向上」として、計画的生産の拡充やそれに資するデジタル化の推進により、当社グループにおける総合的なモノづくり力強化をさらに進め、更なるグローバル生産性の向上も目指します。そして、「経営基盤の強化」として、ESG経営の強化、財務基盤の強化・CFマネジメントの強化、人財経営の推進を進め、新中期経営計画の達成に向けた事業活動の基盤をさらに盤石のものにすることを目指します。

その上で、新中期経営計画における数値目標は、2026年6

月期連結業績において「売上高3,000億円」「売上総利益率35%」「営業利益480億円(営業利益率16%)」「ROE14%」「営業CF(3年間累計)630億円」の達成としています。

2024年6月期の業績予想

半導体及び電子部品事業の 継続的な成長により、増収・増益を予想します

2024年6月期の連結業績予想としては、受注高2,500億円(当期比1%増)、売上高2,450億円(同8%増)、営業利益230億円(同15%増)、経常利益245億円(同7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益160億円(同12.9%増)と、増収・増益を見込んでいます。

受注高については、半導体事業における先端ロジックや電子部品事業におけるパワーデバイス等において特に成長が見込まれることに加え、FPD事業におけるEVバッテリー用の巻取式真空蒸着装置の受注も期待できることから当該予測をしています。そして、この受注高の予測値に対応した計画的生産の拡充等の総合的なモノづくり力強化をはかることにより、売上高拡大とともに、売上総利益率及び営業利益率の向上を目指します。



株主の皆様にお伝えしたいこと

当社グループは、グループ一丸となって、新中期経営計画の達成を目指します。この新中期経営計画の実現への取組みは、「未来につながる『可能性の場』であり続ける」という“Vision 2032”を常に目標にしながら実施していきます。

当社グループは、真空技術及びその周辺技術の総合利用により、経済価値、社会価値、環境価値を創造し、企業価値を向上してまいりますので、株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りたくお願い申し上げます。

新たに2024年6月期から2026年6月期までの3か年を対象とする中期経営計画を策定しました。

新中期経営計画に関する詳細情報は当社ウェブサイト「決算短信・決算説明資料」からご確認いただけます。



基本方針

- 真空技術による社会的価値創造
- 利益・資本効率重視の経営

重点戦略と具体的取組み

1. 成長事業における製品競争力の強化

- ① 共創によるイノベーションの推進
- ② 半導体及び電子部品事業の拡大
- ③ カスタマーサービス事業の強化

2. グローバル生産性の向上

- ① モノづくり力強化
- ② デジタル化の推進

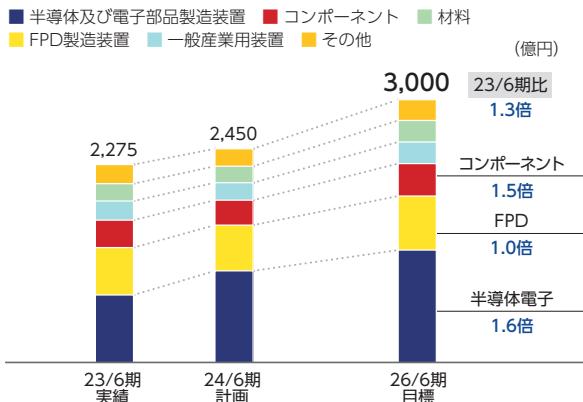
3. 経営基盤の強化

- ① ESG経営の強化
- ② 財務基盤の強化・CFマネジメントの強化
- ③ 人財経営の推進

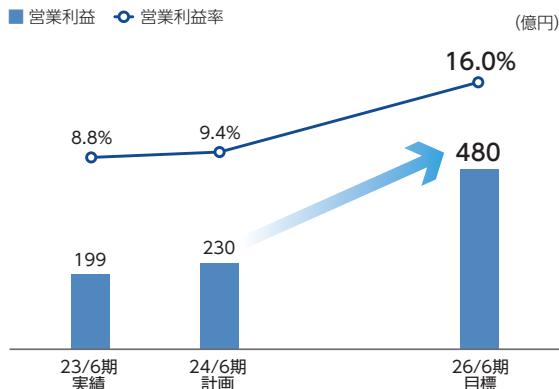
数値目標

	26/6期 目標	23/6期 実績
売上高	3,000億円	2,275億円
売上総利益率	35%	29.5%
営業利益(率)	480億円(16%)	199億円(8.8%)
ROE	14%	7.3%
営業CF(3年間累計)	630億円	605億円

売上高



営業利益(率)



1 | 成長事業における製品競争力の強化

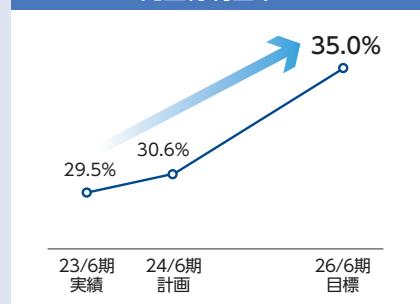
成長ドライバーの受注計画及び目標

(億円)



2 | グローバル生産性の向上

売上総利益率



製品企画力強化

- 開発・営業・技術・設計・購買・製造・サービスの連携強化
- QCDを意識した製品企画徹底

生産性向上

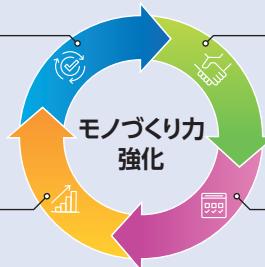
- 最適拠点生産
- 柔軟な経営資源配分

戦略購買力強化

- 計画的生産に対応した戦略購買体制構築
- キーサプライヤーとの連携強化

計画的生産拡充

- モジュール化・標準化
- リードタイム短縮



デジタル化の推進

3 | 経営基盤の強化

ESG経営の強化

財務基盤の強化
CFマネジメントの強化

人財経営の推進

経営基盤の強化

取締役



代表取締役社長
岩下 節生



専務取締役
白 忠烈



取締役 (社外)
西 啓介



取締役 (社外)
内田 憲男



取締役 (社外)
石田 耕三



取締役 (社外)
中島 好美

監査役



監査役 (常勤)
齋藤 一也



監査役 (常勤)
森尻 裕二



監査役 (社外)
宇都宮 功



監査役 (社外)
本田 宗哉

執行役員

常務執行役員
島田 鉄也

常務執行役員
青木 貞男

常務執行役員
清水 康男

上席執行役員
佐藤 重光

上席執行役員
近藤 智保

上席執行役員
萩之内 剛

上席執行役員
衣川 正剛

上席執行役員
申 周勲

上席執行役員
清田 淳也

執行役員
蔡 有哲

執行役員
鄒 弘綱

執行役員
高橋 信次

執行役員
山口 堅二

執行役員
金 善吉

執行役員
岡 正

執行役員
原 泰博

会社データ／株式の状況

会社概要 2023年6月30日現在

商号	株式会社アルバック ULVAC, Inc.
商標	ULVAC
本社	神奈川県茅ヶ崎市萩園2500番地
設立	1952年8月23日
資本金	20,873,042,500円
従業員数	1,710名(連結6,264名)

株式の状況 2023年6月30日現在

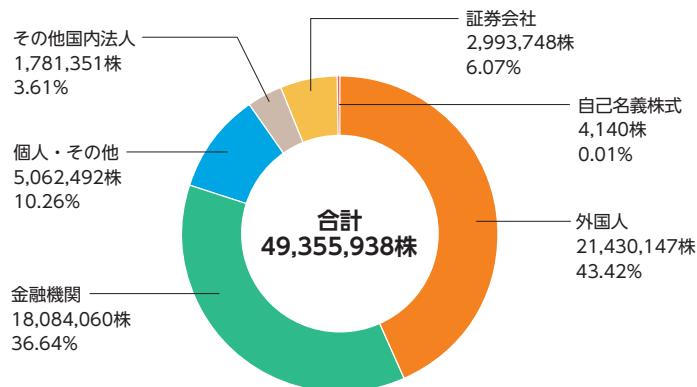
発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式の総数	49,355,938株
株主数	12,463名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,569	15.34
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,735	7.57
日本生命保険相互会社	3,242	6.57
BBH (LUX) FOR FIDELITY FUNDS-GLOBAL TECHNOLOGY POOL	3,188	6.46
TAIYO FUND,L.P.	2,477	5.02
JPモルガン証券株式会社	1,212	2.46
TAIYO HANEI FUND,L.P.	1,170	2.37
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505227	1,031	2.09
BNP PARIBAS LUXEMBOURG/2S/JASDEC SECURITIES/UCITS ASSETS	994	2.01
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505038	796	1.61

(注)持株比率は自己株式(4,140株)を控除して計算しております。

所有者別株式数



株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	9月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 6月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00 (土・日・休日を除く)

住所変更など諸手続のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社等にお申し出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。三井住友信託銀行株式会社への
手続用紙(住所変更・買取請求・配当金振込指定など)のご請求
ホームページアドレス
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

配当金のお受け取り方法について

配当金を配当金領収証でお受け取りの株主様には、確実に配当金をお受け取りいただける預金口座や証券会社の口座への振込みによる配当金のお受け取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問合せください。

IRカレンダー

定時株主総会

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	第2四半期 決算発表			第3四半期 決算発表			通期 決算発表			第1四半期 決算発表	



ウェブサイトのご案内

① 企業情報はこちら <https://www.ulvac.co.jp/>



② IR情報はこちら <https://ir.ulvac.co.jp/ja/ir.html>



本事業報告書に記載されている当社の現在の計画・戦略及び予測については、現在入手可能な情報に基づき、当社が現時点で合理的であると判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は様々な要因により本事業報告書の内容とは異なる可能性のあることをご承知おきください。

ULVAC 株式会社アルバック

本社・工場
〒253-8543 神奈川県茅ヶ崎市萩園2500番地
TEL.0467-89-2033

